

SS-Science Camp II

In Tateyama



2023.8.19(SAT) – 22(TUE)

CHIBA MUNICIPAL CHIBA HIGH SCHOOL

Day 1 フォッサマグナを見る



1日目の予定	
6:00	学校集合 バスに乗り込み出発！
13:00	フォッサマグナパーク見学
14:30	フォッサマグナミュージアム見学
16:00	親不知海岸を散策
17:30	ホテル到着・夕食
19:30	室内研修（武田先生）
21:00	1日目終了！



6:00 いざ出発！

今回の参加者は、普通科2年次SSHコースに所属する12名。いつもより長めの3泊4日の研修にちょっと不安そうな顔の人も…

お天気のスペシャリスト武田先生をお迎えし、大型バスでいざ出発！まずは新潟県糸魚川市のフォッサマグナパークに向かいます。

お昼ご飯は白馬で、野菜たっぷりのおいしいお弁当を食べました。



東西日本を分ける断層露頭



枕状溶岩の観察

撮影スポット情報

フォッサマグナパークでなら、なんと文字通り「東西をまたにかけて」写真を撮ることができちゃいます！思い出に残る一枚を、是非！



13:00～14:00

フォッサマグナパーク見学

まずは東西日本の境界線を間近に見ることができるフォッサマグナパークへ。根知川沿いの遊歩道はしっかり整備されていて歩きやすく、木陰が多いため快適です。

なお、到着地の駐車場は西の地質、帰る際にバスに乗り込んだ駐車場は東の地質です。面白いですね。断層露頭の300mほど東には、枕状溶岩を観察できる露頭もあります。大地のエネルギーの凄まじさに感嘆の声が上がりました。

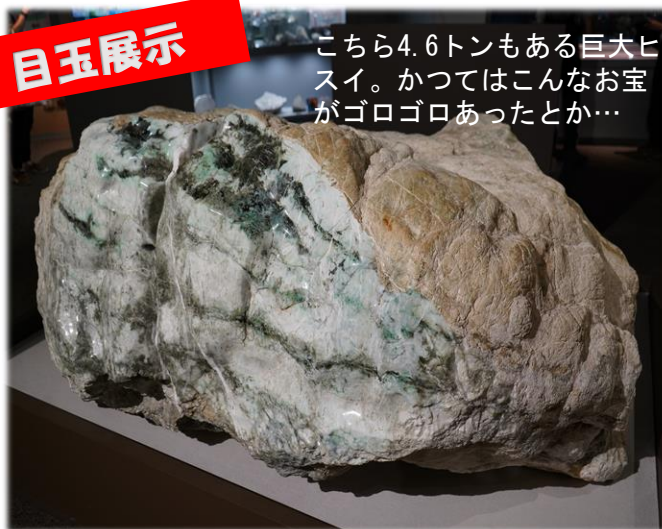
14:30~15:30

フォッサマグナミュージアム見学

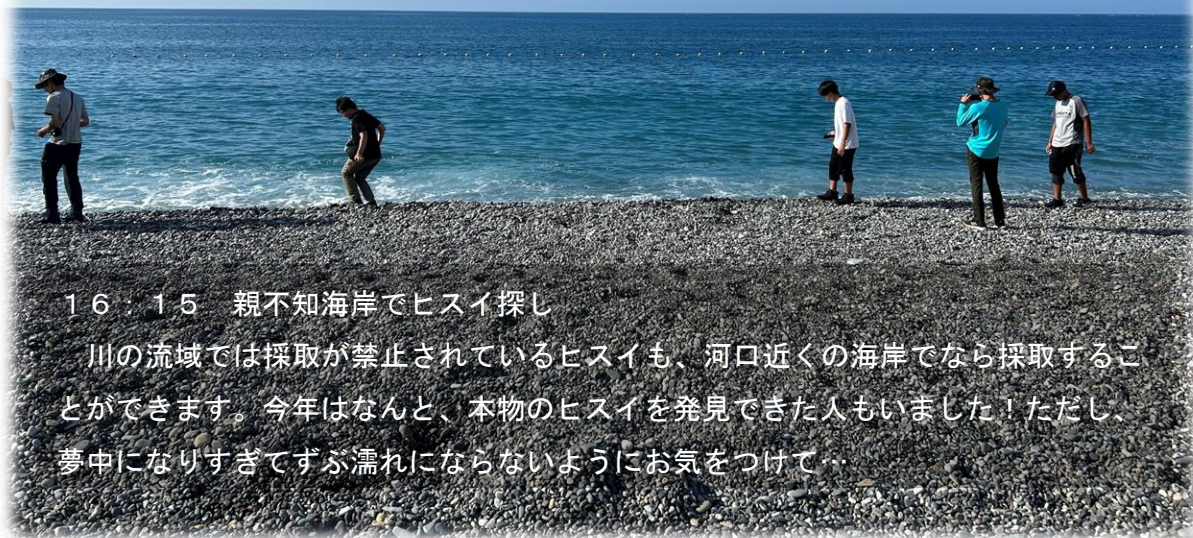
未だ謎の多いフォッサマグナ。その成り立ちや世界の様々な岩石・鉱物について学べる博物館がこちら。中でも「県の石」であるヒスイは、糸魚川流域が一番の産地。というわけで、展示にも大変力が入っています。採取した石がヒスイか否かを判定してくれるサービスもあるそうですよ！

目玉展示

こちら4.6トンもある巨大ヒスイ。かつてはこんなお宝がゴロゴロあったとか…



そして海岸へ



16:15 親不知海岸でヒスイ探し

川の流域では採取が禁止されているヒスイも、河口近くの海岸でなら採取することができます。今年はなんと、本物のヒスイを発見できた人もいました！ただし、夢中になりすぎてずぶ濡れにならないようにお気をつけて…



19:30~20:30 研修

明日からのフィールドワークを目前に控え、武田先生から主に天気に関する講義をしていただきました。明日の夜には星空も見られそう！ということで、各自ウキウキしながら部屋に戻っていったのでした。

明日はいよいよ立山でのフィールドワークです！

Day 2 弥陀ヶ原・室堂を歩く

2日目の予定

8:00	ホテル出発！
9:00	立山カルデラ砂防博物館で福井先生と合流 車窓から美女平の植生観察
10:30	弥陀ヶ原にてフィールド研修→室堂ターミナルへ
13:15	室堂周辺にてフィールド研修
14:30	雷鳥荘到着！
20:00	室内研修（福井先生・多賀谷先生）
21:00	2日目終了！



ここからが研修本番！



本日の
ゴール

福井先生
と合流！

立山カルデラ砂防博物館前にて

二日間お世話になる雷鳥荘

ちょっと遠いけど美しい称名滝



9:30~13:00

美女平・弥陀ヶ原・室堂にてフィールド研修

立山カルデラ砂防博物館で立山の地質の専門家である福井幸太郎先生に合流していただき、2日目の研修開始です！

まずは弥陀ヶ原を目指してぐんぐん高度を上げながら、車窓から立山杉やブナ、マツなど高度とともに変化する植生を観察。途中で立ち寄った展望台からは称名滝がとても美しく見えました。

鬼界アカホヤテフラを観察。あんな南から飛んできたなんて！



↑火山ガスの警報機
夜の雷鳥荘↓



↑地獄谷を望む
見事な虹↓



弥陀ヶ原では、高山植物や池塘を観察。福井先生の案内で、泥炭層の下に堆積した鬼界カルデラ形成時の火山灰層も見ることができ、またもや地球のエネルギーの凄まじさに驚嘆！残念ながら見晴らしはいまいちでしたが、有意義なフィールド研修ができました。

その後、室堂ターミナルへ移動し、室堂平周辺を観察しながら、今夜から二泊お世話になる宿、雷鳥荘へ。その直後から降った大雨が上がると、きれいな虹がかかりました！

夜は満天の星空の下

盛りだくさんの一日の終わりは、明日の雄山登山に向けて、福井先生と山岳ガイドの多賀谷先生による特別講義。そのあとは満天の星の下での武田先生による星座案内。東京では出会えない美しい天の川に、誰もが皆心を奪われまし

Day 3 雄山頂上を目指す

3日目の予定	
7:00	雷鳥荘を出発
10:00	一ノ越到着。いよいよ山頂へ！
11:30	3003mの雄山山頂に登頂！！
12:00	一ノ越にて昼食休憩
14:00	福井先生・多賀谷先生とお別れ
15:00	雷鳥荘に帰着
20:00	室内研修（雷鳥荘支配人 中橋様）
21:00	3日目終了！



7:00 出発！

いよいよこの研修の最大の目玉、雄山登山の日がやってきました。十分な水分やお弁当を持って、福井先生、多賀谷先生と一緒に、いざ出発！迷子石や雪渓、高山植物を観察しながら、まずは一ノ越を目指します。通りがかった早朝のミクリガ池は水面が鏡のように光って、まるで私たちに励ましてくれているようでした。

10:30 頂上への挑戦開始！

標高2705mの一ノ越でいったん休憩。水分と補給食を摂り、いよいよ山頂へ向かいます。さっきまで上にあったはずの雲がすぐそこにあり、一行は霧の中、懸命に岩肌の斜面を登っていくのでした…



三ノ越でしばし休憩。まだ元気！

11:15 登頂達成！



登頂記念！



雲の切れ間から氷河を望む



本物の氷河！

雄山の頂上には雄山神社の本殿があります。ずっと昔から、人々は雄山を愛し、畏れてきたのですね。

頂上は雲の中でしたが、その切れ間から本物の氷河を見ることができました！

下山後は、福井先生、多賀谷先生とお別れし、再び高山植物などの観察をしながら宿へ戻りました。

最終日の夜、残念ながら星空を見ることはできませんでしたが、室内研修で雷鳥荘支配人の中橋様から「山小屋の一年」と題した大変興味深いお話を伺うことができました。

さあ、美しい立山、楽しかった雷鳥荘とも今夜でお別れです。



無事に下山しました



おいしいごはんは一番の幸せ！



とても興味深い「山小屋の一年」



頑張った分たくさん食べてね！

Day 4 黒部の絶景にふれる

4日目の予定	
7:00	雷鳥荘を出発
8:15	トロリーバス・ロープウェイ・ケーブルカーを乗り継いで、黒部ダムへ
9:15	黒部ダムにて研修
10:50	関電バスにて扇沢駅へ
12:00	扇沢駅から、バスで帰路へ
17:30	学校帰着。お疲れさまでした！



LAST MISSION

二つの山脈を越えて行け！



本日のルート

最終日は、二つの山脈に挟まれ「最後の秘境」とも言われた黒部へ向かいます。もちろん目的地はあの有名な黒部ダム。

ダムがある黒部湖へ向かうには、室堂ターミナルからトロリーバスで雄山を横切り、ロープウェイで溪谷を挟んだ黒部平を渡ったのち、ケーブルカーで黒部湖まで下ります。

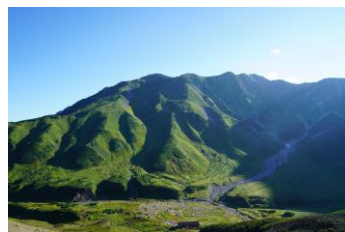
実はこの道のりも、大事な研修のひとつ。皆は破砕帯に気付けるかな！

7:00 雷鳥荘を出発

お世話になった雷鳥荘と、雄大な立山の景色に別れを告げて、室堂ターミナルへ向かいます。重い荷物を背負った皆の背中からは心なしか来た時よりも遅くなっているような…

この日は室堂一带に輸送ヘリコプターが来る日で、梱包された荷物が雷鳥荘の裏手に準備されていました。まさに昨夜お話を聞いたとおり！ターミナルに向かう途中には、ヘリコプターが飛んでいる様子も見ることができました。

さあ、素敵な思い出をたくさん持って山を突っ切り、最後の研修地黒部へ向かいましょう！



眩しく輝く朝の立山



地獄谷にも別れを告げます



日本一の長さを誇るワンスパンロープウェイ



大観峰からの眺め



最高の眺望に感動！

9：15 黒部ダムに到着

室堂ターミナルから、トロリーバスで大観峰へ。この際に通るトンネルは黒部ダム建設時に資材搬入のために掘られたものです。実は破碎帯の部分は青いライトになっており、その幅広さに驚かされました。

続いて乗り込んだのは立山ロープウェイ。黒部平までの全長1.7km、豪雪対策のため、支柱は一本もありません！



これが破碎帯だ！

最後にケーブルカーに乗って、標高1450mの黒田湖に到着しました。最高のお天気のもと、最後の研修が始まります。

☆黒部ダムグルメ情報☆

ソフトクリームだけじゃない！
変わり種をご紹介します



黒部湖の美しい緑をイメージした新名物「ダムまん」はグリーンカレー味でちょっとスパイシー。小腹が減ったあなたにお勧めです。

破碎帯を流れる水でつくった「ハサイダー」に、凍らせたゼリーを合わせた「ハサイダージュエル」は、華やかでおいしい一品です。



本研修最後の集合写真。みんないい表情！

9：15～11：30 黒部ダム研修、そして…

黒部は東西を3000m級の山脈に挟まれた秘境。黒部ダム建設時には資材を運ぶトンネルを掘ることから始まりましたが、大量の地下水が滝のように流れる破碎帯を掘りぬく工事は困難を極めました。難仕事を成し遂げた先人たちの偉業を目に焼き付け、科学の必要性と可能性をかみしめながら、北アルプスの山々に別れを告げたのでした。

大変なこともあった、けれどとても楽しく充実した3泊4日の研修。この経験が参加した12人の財産となりますように！



真剣な表情で最後の研修開始



展望台からの眺め



虹も黒部ダムの名物



関電バスで旅の終点扇沢駅へ